

妊産婦さんへ

「坐禅がお産に与える影響」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる妊産婦さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	<p>2017年1月1日～2024年3月31日までに開催したマタニティ坐禅に参加し出産を終えて、マタニティ坐禅に関する産後アンケートを回収できた妊婦さんと、対照群として2017年1月～2024年3月31日までに湘南鎌倉総合病院産婦人科、湘南鎌倉パースクリニック*1にて出産を終えた全分娩妊婦さん。</p> <p>*1:2024年3月末に閉院しましたが、閉院後診療情報は当院に統合されています</p>
2 研究目的・方法	<p>妊産婦さんが妊娠中及び分娩中の心身の支えとなる目的で坐禅を組むことを「マタニティ坐禅」と呼んでいます。</p> <p>アメリカに渡った禅が産科領域でMindful Birthingを生見出し、妊産婦さんの心身のサポートとして日本に逆輸入されました。私達はそのMindful Birthingを知って妊産婦さんを対象とした坐禅会を2017年春初めて建長寺で行いました。坐禅に参加された方からは、坐禅を自分のお産に良い方向にはたらくと感じたという感想が多く、その後現在まで定期的に20回妊産婦さんを対象とした坐禅会を行っています。その時の会の名称が「マタニティ坐禅」でしたが、今は会の名称というより幅広く「妊産婦さんが坐禅を組むことをマタニティ坐禅」と呼んでいます。</p> <p>この研究では、マタニティ坐禅がお産に及ぼす影響を調査します。マタニティ坐禅を経験した妊産婦さんの年齢、参加した妊娠週数、初産婦か経産婦、分娩した妊娠週数、分娩方法などについて診療録の情報から検討します。</p> <p>マタニティ坐禅がその後のお産及び産後に及ぼす影響が明らかになれば、これによるお産に対する心のサポートの提供機会を上げられる可能性があります。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年10月予定)後～2024年12月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、妊産婦さんもしくは妊産婦さんのご家族等で妊産婦さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも妊産婦さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	<p>全分娩妊婦さん:背景(年齢、初産婦か経産婦、分娩週数、分娩方法)等</p>

	マタニティ坐禅参加妊婦さんのみ:マタニティ坐禅参加時の週数、マタニティ坐禅に関するアンケートより取得した情報 等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 井上裕美 湘南鎌倉総合病院 産婦人科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>

2024年8月1日作成(第1.0版)